

産業建設委員会記録

開会年月日	平成30年10月10日
開会時刻	午前10時28分
閉会時刻	午前10時36分
出席委員名	◎世古 明 ○野崎隆太 中村 功 北村 勝
	野口佳子 小山 敏 山本正一 宿 典泰
	西山 則夫 議長
欠席委員名	なし
署名者	中村 功 北村 勝
担当書記	森田晃司
審査案件	議案第85号 平成30年度伊勢市一般会計補正予算(第3号)(産業建設委員会関係分)
説明者	産業観光部長、産業観光部理事、商工労政課長、
	都市整備部長、都市整備部次長、都市整備部参事、
	情報戦略局長、情報戦略局参事、財政課長、その他関係参与

審査経過

世古委員長が開会を宣言し、会議成立宣言の後、会議録署名者に中村委員、北村委員を指名した。

その後、直ちに議事に入り、去る10月10日の本会議において審査付託を受けた「議案第85号 平成30年度伊勢市一般会計補正予算（第3号）中、産業建設委員会関係分」を審査し、全会一致で原案どおり可決すべしと決定し、委員長報告文の作成については、正副委員長に一任することで決定し、閉会した。

なお、詳細は以下のとおり。

開会 午前10時28分

◎世古明委員長

ただいまから産業建設委員会を開会いたします。

本日の出席者は全員でありますので、会議は成立いたしております。

これより会議に入ります。会議録署名者2名は委員長において、中村委員、北村委員の御両名を指名いたします。

本日御審査願います案件は、「議案第85号 平成30年度伊勢市一般会計補正予算（第3号）」中、産業建設委員会関係分であります。

議事の進め方につきましては、委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎世古明委員長

御異議なしと認めます。そのように取り計らいをさせていただきます。

また、委員間の自由討議については、申し出がありましたら随時行いたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

【議案第85号 平成30年度伊勢市一般会計補正予算（第3号）（産業建設委員会関係分）】

◎世古明委員長

それでは、「議案第85号 平成30年度伊勢市一般会計補正予算（第3号）」中、産業建設委員会関係分を御審査願います。

補正予算書の12ページをお開きください。款5労働費を御審査願います。御発言はありませんか。

小山委員。

○小山敏委員

ここで1点だけちょっと教えてください。

この労働福祉会館が雨漏りしたということなんです、この説明を見ますと、昨年台風21号により被災したのではなくてですね、施設の老朽化に伴う雨漏りが判明したため改修を行うとあるんですが、この建物は県の管理棟を譲り受けて、伊勢市が改修して新たな

労働福祉会館になってるわけなんですけど、そんなに古い話やないかと思うんですが、老朽化に伴うというのがちょっと理解できないんですが、どういうことですか。

◎世古明委員長
商工労政課長。

●筒井商工労政課長

労働福祉会館につきましては、平成2年の3月20日に県が建てられたものをおっしゃられたようにこちらに譲り受けて、改修したものでございます。ですので、28年たっておるわけでございますけれども、老朽化ということで、ただそれが、この台風21号、これをきっかけとして、雨漏りがひどくなったと申しますか。そういうことで、今回、補正予算を上げさせていただいて、改修をさせていただきたいということでございます。

以上でございます。

◎世古明委員長
小山委員。

○小山敏委員

だったら老朽化というより、やっぱり台風21号による影響ではないんですか。

◎世古明委員長
商工労政課長。

●筒井商工労政課長

それが台風21号でそうなったかどうかというのは定かではございませんので、老朽化という言葉を使っております。

以上でございます。

◎世古明委員長
小山委員。

○小山敏委員

当時ですね、伊勢市が改修するときに屋上の防水層については、手つかずだったということなんですか。

◎世古明委員長
商工労政課長。

●筒井商工労政課長

平成24年に譲り受けて改修を行っておりますけれども、そのときに行った工事と申し

ますのが、建築工事といたしまして外壁の改修工事と、それと内装のペンキ塗りかえ、1階・2階・3階の改修工事ということでございますので、屋上の防水シートの工事は、やってないようでございます。

以上でございます。

◎世古明委員長

都市整備部参事。

●久田都市整備部参事

すみません。工事の内容につきましての御質問でございますので、私のほうからお答えをさせていただきます。

今回ですね、この金額の工事の内容としましては、2階・3階のですね、外壁の防水工事というようなことでございます。今回の台風でですね、あのサッシ周りのところからですね、かなり雨がもう染み込むというよりも、流れ込んでくるというような状況でございました。それで、外壁のですね、材料がですね、ALCでございますので、目地等をですね、サッシ周りのコーキング、そういったものと同時にですね、外壁の防水塗装というのを今回、計上させてもらったというような状況でございます。

◎世古明委員長

他に御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎世古明委員長

御発言もないようですので、款5労働費を終わります。

次に、14ページをお開きください。

款12災害復旧費を御審査願います。当委員会の所管は、項1農林水産業施設災害復旧費及び16ページの項2公共土木施設災害復旧費となります。

御発言ありませんか。

宿委員。

○宿典泰委員

ちょっと参考のために、お教え願いたいと思うんですけども、この台風21号以降ですね、大きな台風が来て、こういう災害復旧費が予算計上されてくるのではないかなとこんなことを若干危惧はするんですけども、災害復旧費に対する地方債の関係で、その地方債に対する地方交付税の状況とか、どの程度を市が直接負担をすべき話なのか、そのあたりの内容だけお教え願いたいと思うんですが。

◎世古明委員長

財政課長。

●大西財政課長

今回のですね、予算の計上の中で申し上げますと、河川の災害復旧につきまして、地方債を充当させていただき予算として上げさせていただいております。今回の河川災害復旧事業につきましては、国の補助事業の対象となる、そういった内容の事業でございます。そういったケースにつきましては、起債につきましても、補助事業に該当する内容であるときに使える有利な起債がございます。そういった、起債を充当しております。充当率が100%ですので、全体の事業費の約3分の2が補助金、国の補助金でございますので、その残りの部分に100%起債を充当することが可能となっております。そして、交付税算入につきましては、そのうちの95%が今年度において交付税算入されてくるという、非常に有利な起債であるという、そういった状況でございます。

◎世古明委員長

他に御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎世古明委員長

御発言もないようですので、款12災害復旧費の当委員会関係分を終わります。

以上で、議案第85号中、産業建設委員会関係分の審査を終わります。

続いて討論を行います。討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎世古明委員長

ないようですので、以上で討論を終わります。

お諮りいたします。

「議案第85号 平成30年度伊勢市一般会計補正予算（第3号）」中、産業建設委員会関係分については、原案どおり可決すべしと決定いたしまして御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎世古明委員長

御異議なしと認めます。そのように決定いたしました。

以上で、付託案件の審査はすべて終了いたしました。

お諮りいたします。

委員長報告文の作成については、正副委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎世古明委員長

御異議なしと認めます。そのように決定いたしました。

以上で、御審査いただきます案件の審査は終わりましたので、これを持ちまして産業建設委員会を閉会いたします。

閉会 午前10時36分

上記署名する。

平成30年10月10日

委 員 長

委 員

委 員